

4月の月一レターです。

2023.4.20

花水木がとても綺麗です。みなわ会の「第51回定期総会」資料と「発足50周年記念誌原稿依頼」の発行・発送作業に大宮ふれあいセンターに向かう15日は、久しぶりに一日中雨の日になりました。バス停に出るまでの通称・六間道路の両歩道は白、白、白、ピンク、白、白の花水木の街路樹の通りです。少し早めに家を出て、晴れの日とはまた違う小雨の中、ぼんやりと白の世界にふんわりとピンクが混ざる癒しの空間に立ってみました。約25年前にはまだ細い花水木の若木をこのようなステキな風景を想定して植えられたのかしら・・・。

奇しくもこの日は50年前から続いた精神疾患を抱えた方の家族の会「みなわ会」の会員への節目の資料の発送作業の日。発足当時の家族の方々の「思いのエネルギーの大きさ」に頭が下がります。一方で、50年目をつなぐ会員の一人として、次の世代にしっかりと継がなければならない年齢に来ていることを実感しつつ会場へ向かいました。

●～●～●～●～ コンボ情報 ～●～●～●～●

●～第88回・こんぼ亭月例会 ～申込受付中！～

『認知機能の異なる人々とのコミュニケーション ～認知症臨床からの学び～』

【日時】

2023年5月20日(土) 13:00～15:00 オンライン開催 ※見逃し配信あります！

【お客様】

大石智さん(北里大学医学部精神科学講師、北里大学病院相模原市認知症疾患医療センター長)

【こんぼ亭「亭主」(ご案内役)】

市来真彦(東京医科大学精神医学分野教授)

5月のこんぼ亭でお話いただくのは、認知症疾患医療センターの運営や公立学校教員メンタルヘルス支援に従事されている、精神科の大石智さんです。

大石さんは、認知症臨床の中で、認知機能の異なる人々と日々接しています。

人とのコミュニケーションの中では、意図していたことが相手に伝わらないことや、自分の思い込みから相手の言葉の意味を勝手に決めつけてしまうことがあるかもしれません。

大石さんには、そのような中でも、態度や言葉を大切にしながらどのように人々と向き合っているのか、認知症臨床の中で大切にしていることは何かなどについて、お話しいただきます。

☆詳細はコンボのHPから https://www.comhbo.net/?page_id=37209

☆案内チラシはこちらから <https://www.comhbo.net/wp-content/uploads/2023/03/comhbotei88.pdf>

◆＝リレー連載「リジツレ」第8回:加藤伸輔さん (ピアサポートグループ在) ＝◆

「かけがえのない大切な場「パパ・ピアミーティング」」 https://www.comhbo.net/?page_id=32693